

令和2年度訪問型家庭教育支援推進事業シンポジウム 「地域全体で支える教育 ～保護者に寄り添う支援をめざして～」

1. 日時 令和2年8月31日(月) 13時00分～16時30分
2. 場所 和歌山県民文化会館 大ホール
3. 参加者 市町村関係職員、コミュニティ・スクールに係る関係者(学校運営協議会委員・教職員・PTA関係者等)、幼・保・こども園職員、福祉関係者 等
合計145名

4. 内容

13:05～ 行政説明

◆「地域における家庭教育支援の推進に向けて」

和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課 社会教育主事 松尾 綾

○家庭教育支援の充実に向け、和歌山県がめざす方向性について

①国の動向

- ・核家族化や共働き家庭等、家庭環境の多様化に伴い、家庭教育を行うことが難しくなっている。
- ・様々な家庭への配慮が必要となってきたことから、地域・家庭・学校のさらなる連携が必要である。

②県の方向性

- ・各市町村の実態に合った訪問型家庭教育支援体制の全県展開を目指す。

③県内の支援チームの様子

- ・訪問型家庭教育支援の類型例(ユニバーサル型、ベルト型、ターゲット型、エリア型)
- ・幅広いアウトリーチ型支援(自宅や学校、企業等に出向いて個々の保護者に届ける支援)は交流の機会の提供・保護者同士の人間関係を作ることができる。
- ・橋本市(ターゲット型)、湯浅町(ユニバーサル型)、那智勝浦町(ベルト型・ターゲット型)の具体的取組。
- ・地域全体で、子育て環境の充実をめざして
地域…子育てについて、「共に語り合い」「共に学び合い」ながら、学校・家庭・地域全体で子供たちを育む
学校…日々の子供の様子を観察と今ある支援体制の活用
行政…地域における家庭教育の充実と既存支援体制の見直し

13:20～ 講演

◆講演「うちの子！最高！」

幼児教育専門家・子育てアドバイザー 熊丸 みつ子 氏

○概要

- ・むかつく！イライラする！！それは子育て順調な証拠よ。
- ・子供は大人からもらったものでしか表現できない。
- ・大人は笑顔をあげるのが仕事。子供は笑顔をもらうのが仕事。
- ・子供たちに教えるのではなく、伝えていく。子育ての結果は20年後！
- ・学校だけでは無理。家庭だけでは無理。地域の力が必要。大人が手をつながないと。

- ・大人はみんな子供を幸せにする責任がある。

14:30～

◆パネルディスカッション

「つながりを深めよう！地域の子供たちを育てていくために」

【コーディネーター】

- ・令和2年度訪問型家庭教育支援推進協議会 座長
奈良学園大学 社会・国際連携センター長
人間教育学部 教授 善野 八千子 氏

【パネリスト】

- ・幼児教育専門家 子育てアドバイザー 熊丸 みつ子 氏
- ・令和2年度訪問型家庭教育支援推進協議会 委員
特定非営利活動法人 シェアスタート和歌山 理事長 林 明子 氏

○「HAPPY 子育て応援なないろ保育グループ」について

- ・親に対して多様な支援を行い、地域教育型の子育て支援事業所
- ・支援されたものが支援者へ 多世代の子育て家庭支援
- ・地域力の必要性支援と専門機関につなぐ役割支援

○「子育て」について

- ・家庭教育支援を必要としないところはない。
- ・昔も今も子供は変わらない。変わったのは環境。子供を見守る目を増やし、笑顔や何気ない一言の声かけが大切。
- ・地域のおせっかいおばさん、おじさんの出番ですよ！
- ・感情共有が大事。イメージする力、共感しようとする力が何より大事。

15:25～

◆講演「きれめのない支援を充実させるために

～家庭教育支援と幼小接続期に視点をあてて～

奈良学園大学 社会・国際連携センター長

人間教育学部教授 善野 八千子 氏

○概要

- ・相談してくれたらすぐ対応できるように。そのためには信頼が必要。保護者との関係を作るのは効果的な仕掛けが大事。
- ・話をよく聴くこと。教え導くのではなく、保護者と同じ目線に立って寄りそう。保護者は、信頼している人に話す。「専門家に見えない専門性」がポイント。
- ・学びの場などの拠点に繋がるよう支援する。行きたくなるような刺激や情報が必要。
- ・専門的な視点・対応が必要な問題に対しては、専門家に繋げること。
- ・環境移行期がチャンス。就学時健診は来年度から同じ教室で学ぶ子供たち、保護者同士が会う機会。「不安に感じることは？」「期待していることは？」などを共有する。この時学校は出席しない家庭がないか、親子の様子はどうか見ておくと良い。
- ・参観授業の後の懇談会では、保護者に自分の子の席に座ってもらうのも良い。机の中をのぞいてもらい、学習に向かうための準備ができているか見てもらう。
- ・「受援力」が重要。まわりの人に「助けて」と言える力。それは保護者だけでなく、学校にも必要な力。「一緒に子供の安全を守ってくれませんか？」と言える力が重要。